

令和3年度 第1回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会会議録（要旨）

1 会議名称 令和3年度第1回生駒市学研高山地区環境保全対策委員会

2 開催日時 令和3年8月6日(金) 午後3時00分～午後4時30分

3 開催場所 エコパーク21管理事務所 2階研修室

4 出席者 出席委員 8名

(学識のある経験者)

伊木 雅之 委員長

岸本 憲明 委員

馬場 勝也 委員

(関連のある自治会代表)

吉川 勝己 委員

田中 政行 委員

森本 純司 委員

森本 陸郎 委員

池田 勝彦 委員

事業者

奈良先端科学技術大学院大学

事務局

市民部 岡田部長

環境保全課 黒松課長、木戸課長補佐、北里、大沢、山本、

上下水道部

竜田川浄化センター 花井所長

下水道課 栗巢

関係者

中外テクノス(株)

傍聴者 0名

## 5 会議次第

### 1 開会

### 2 役員選出

### 3 案件

- (1) 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター設備のシアン異常値検出について
- (2) 奈良先端科学技術大学院大学遺伝子組換え生物（シロイヌナズナ）漏出事故に係るモニタリング調査について
- (3) 参天製薬㈱環境保全計画書及び環境保全協定書（案）について
- (4) 学研高山地区における監視測定結果について
- (5) その他

## 6 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター設備のシアン異常値検出について
- ・ 資料 2 遺伝子組換え植物（シロイヌナズナ）のキャンパス内漏出事故への対応について
- ・ 資料 3 大学周辺のシロイヌナズナモニタリング調査について
- ・ 資料 4 参天製薬株式会社業務内容変更に伴う環境保全対策について（諮問）
- ・ 資料 5 参天製薬株式会社環境保全計画書
- ・ 資料 6 参天製薬奈良研究開発センターにおける RI（ラジオアイソトープ）施設の廃止について
- ・ 資料 7 参天製薬株式会社との環境保全協定書案
- ・ 資料 8 参天製薬株式会社との環境保全協定書案の新旧対照表
- ・ 資料 9 答申案
- ・ 資料 10 生駒市学研高山地区に係る調査結果報告書
- ・ 資料 11 生駒市学研高山地区に係る調査結果まとめ
- ・ 資料 12 生駒市学研高山地区環境保全対策基本指針
- ・ 資料 13 生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例

## 7 会議経過

- ・ 部長挨拶
- ・ 出席者紹介
- ・ 会議の成立について

生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例第 7 条第 2 項の規定により、委員 10 名中 8 名の出席のため会議は成立

- ・ 会議の公開について  
公開 傍聴者 0 名

## 会議次第 2 役員の選出

### <事務局>

委員(学識経験者)の任期満了・自治会長の交代に伴い、会長・副委員長が不在になっている。その後、初めての委員会となりますので、委員長・副委員長の選出をお願いしたいと思います。資料 13 生駒市学研高山地区環境保全対策委員会条例第 6 条第 1 項で、「委員会に委員長及び副委員長を置く」同条第 2 項で「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」とされている。委員に意見を求める発言。

### <委員>

委員長は伊木委員、副委員長に地域の代表として池田委員をお願いしたい旨の発言。

### <委員>

了承。

### <事務局>

伊木委員長、池田副委員長席移動。

伊木委員長に本日の会議における運営をお願いする発言。

## 会議次第 3

案件(1) 奈良先端科学技術大学院大学実験排水モニター設備のシアン異常値検出について

### <奈良先端科学技術大学院大学>

資料に基づき、説明。

### <委員>

今回 2カ所のところから検出されたということですが、学際融合領域研究棟とバイオサイエンスの研究棟、それぞれのところから、シアン化合物が漏出したというふうに考えてよろしいでしょうか？との発言。

<奈良先端科学技術大学院大学>

2カ所から出ておりますので、2カ所から排出かと。との発言。

<委員>

2つの研究棟から、しかも原因が特定されてないということを考えると、非常に疑問に思う。1カ所だけならば、特定の研究室から漏出したということが分かる。全く棟が違うところから同時に同日に出ているということは、何かあるのか？との発言。

<奈良先端科学技術大学院大学>

今の2カ所からシアンパックテストを実施しまして、2カ所から出ておりますので、2カ所から排出かと。との発言。

<委員>

この日は日曜日ですよね。日曜日に、しかも2つの研究棟から、同時かどうか知りませんが、同日に出てくるというのは、ちょっと何か。しかも原因が特定されてないということを考えると、どうしてかなってというのは非常に疑問に思う。たとえば、もし、1カ所だけならば、特定の研究室なりから漏出したってことが分かるのです。これが全く棟が違うところから同時、同日に出ているということは、何かあるのかというように思う。その点はいかがでしょうか？との発言。

<奈良先端科学技術大学院大学>

日曜日に起こった事実っていうのは履歴から分かったのですけれども、実際、そのシアンパックテストは、月曜日に出勤してから行ったので、その2カ所から、出た事実っていうのは、月曜日に分かった事実です。どうして、その2カ所が出たっていうのは、まだ分かっておりません。との発言。

<委員長>

3月28日に1mg/Lを超えるようなシアンが検出されて、何かアラートが鳴ったわけですね。その後に専門業者に測定をしてもらおうと、0.2mg/Lであったというふうに書いてあります。そうしますと、最初の1mgを超えるというのが誤りであったということですか？それとも誤りではなくって、0.2っていうのが何らかの理由で薄まって、希釈されて0.2になっているということでしょうか？との発言。

### <奈良先端科学技術大学院大学>

一応、その希釈された可能性もあるんですけども、薬品を測定するにあたって、その測定方法というのが、1点でピンポイントの測定をするような形の測定だと認識があるんですけども、その上で、ちょっとした誤差ができたんじゃないかというふうには考えております。その辺りは調査中といいますか、メーカーのほうにも確認したんですけども、過去にも、不具合というのは特にないということでしたので、何らかの誤差ができたのではないかとこのように推測しております。との発言。

### <委員長>

1と0.2が誤差範囲ですか？との発言。

### <奈良先端科学技術大学院大学>

確かにおっしゃるとおり誤差は大きいと思います。簡易の水質検査では1.7mg/Lですけども、これは簡易検査でありまして、ものすごく厳密に検査をしているわけではありません。例えば妨害物質でありますとか、そういったものが流入する可能性も捨てきれないわけではありません。もし異常値が出た場合に、それを流してしまわないということが一番重要であり、このシステムがちゃんとワークしているということをご理解いただきたい。もし、そういう異常値が出たときに、そういったものを流さずに、いったん非常槽にためておいて、実際にそれが本当にものすごく量が多い、基準値を超えているのか、専門業者の方にもう一回チェックしていただいて、本当にどうなのかということを厳密に調査している。との発言。

### <委員>

シアンの詳細な影響とか、その辺は無知なものですが、今後の対処方針ということで、特定できていないということを書かれております。今後は薬品の適正な取り扱いについて、学内で再度周知を行うとともに再発防止の徹底に努めていただきたい。原因の特定はきちんとこれからも進めていただいて、住民に不安がないように、ぜひお願いしたい。との発言。

### <委員>

シアン化合物というのは猛毒というような認識をもっており、管理はしっかりされているということですけども、例えば、学生の方が日曜日に外から持ち込んだとか、上空からまかれたとか。そういう心配というか、可能性はないですか？との発言。

<奈良先端科学技術大学院大学>

外から持ち込んだという可能性については、完全にそれを排除することは、不可能です。このシアン化合物というのは、取引するときには、かなり厳密な取り扱いがあるので、また別の場所で何か齟齬(そご)が起こっているはずで、ということしか可能性としては、そういう感じだと思います。そして、上空からまかれたという可能性ですけれども、取り扱っている排水というのは、実験室から出ている場所ですので外からどれぐらい、完全に密閉されている空間で全部やっているわけではありませんので、その可能性も完全に排除することはできませんが、低いんじゃないかと思っております。との発言。

<委員長>

ここで大切なことは、一般排水の中にシアンが排出をされなかったということです。それは大変よかったなと思います。ただ、問題なのは、その原因が特定できていないということです。シアンがあったことは間違いない。専門業者が測定をして 0.2mg/L あるという事実はあるわけですね？との発言。

<奈良先端科学技術大学院大学>

実際、そう言わざるを得ない状況であります。との発言。

<委員長>

と、なりますと、それが一体どこから来たのかっていうことを、難しいかもしれませんが、きちんと特定していただいて。そうしないと、きちんとした対策が打てないというふうに思いますので、そういうところをきちんと解明していただいて、薬剤の管理に問題がないようお願いしたい。との発言。

案件(2) 奈良先端科学技術大学院大学遺伝子組換え生物(シロイヌナズナ)漏出事故に係るモニタリング調査について

<奈良先端科学技術大学院大学>

資料に基づき、説明。

<委員長>

定期的にこういうサンプリングをして、組換え体が入っていないかどうかの検査をしているということ。今回も組換え体は全く発見できなかったと？との発言。

<委員>

この検査は目視検査だけになるわけですか？との発言。

### <奈良先端科学技術大学院大学>

学内、学外とも目視で職員、教員が道路をずっと見ながら探します。慣れてますので、あれば見つかります。実際に、学内、学外と見つからないですけども、学外で毎年見つかる部分というのがありまして。それはヤオヒコっていう北大和のスーパーのところから、大学へ斜めに降りていく道があるんですけども、その街路樹の根元のところに自生しているシロイヌナズナ植物がございます。これは、もともと日本に生えているものであるということを、写真を出します。いくつかサンプリングしまして、DNAを抽出してのPCR法という方法で、実験で使っている系統とは別の物であるということを、科学的に検証しております。との発言。

### <委員>

定期的に、令和8年まで調査するというところで書いてますが、こういう形で毎年報告をしていただいてありがたく思います。われわれ素人目では、シロイヌナズナというのが分からないし、本当に専門の方でないと分からないと思いますので、その辺はしっかり調査していただいて、オープンな形で報告お願いしたいと思います。との発言。

### <委員長>

今後も定期的なモニタリングというのは、2026年まで毎年行っていただくということになっておりまして、また、それまで毎年こうしてご報告いただけるということでもよろしくお願いいたします。との発言。

(先端大関係者 退室)

### 案件(3)『参天製薬株式会社の環境保全計画書の改定および環境保全協定書案』について

#### <事務局>

資料に基づき、説明。

#### <委員長>

最後、答申を出すということになっていますが、市長から諮問が来ているからですね。資料4にあるような諮問が来て、それに対して答申を出すということになります。参天製薬の環境保全計画の変更と協定書の変更ですけども、何か今の説明につきまして、委員の皆さんのご意見、どうぞお願いします。との発言。

#### <委員>

資料 8 の新旧対照表が後ろのほうにあります。6 ページ右で言えばいわゆる新旧の『新』ですが、旧・大気汚染防止対策 2) があって、その下にイロハニホとあるんですが、『新』のほうの『ホ』の赤線が引っ張ってるのが『ニ』と同じですよ。これたぶん『ホ』を消して『へ』が上に上がるのが誤記になってませんか？との発言。

#### <事務局>

その新旧対照表の前の本編といいますか、こちらに保全計画書の 17 ページ、それから 19 ページの図などが、そこら辺の該当する部分かと思います。(イ) 一般実験室系排気というのが、この 19 ページ図の左から 2 つ目の一般実験室系排気というもの。これは旧の計画書と見比べて、もともとのものだったんですけども、その 19 ページの図の一番右端、(ホ) 一般実験室系排気。これがその問題の、その RI 施設から廃止したことに伴って、その一般実験室として利用されるということで、名称としては何か同じです。との発言。

#### <委員>

分かりました。との発言。

#### <委員長>

この RI の実験室がなくなっていくっていうのは、よくあることです。RI を使わないといけないそういう測定系はどんどん減っていて、もっと他の安全な方法がたくさんできているものですから。これは世の中の流れです。問題は、廃止したときに協定書もあるんだから、その改訂をしないといけないのを忘れていたことです。廃止に伴うことを忘れたというのはまだ、いいかもしれないけれど、何か新しいことをやり始めて、その環境保全対策であるとか、協定書の変更を忘れるっていうのは、これは困るわけで。きちんと対応していかないといけないなというふうな気がします。との発言。

#### <委員>

今日来られない、忙しくて来られないということですが、そういう認識なのかなと。住民側としてはね、やっぱり大きな問題として捉えておられたら、よっぽどのことなかったら、やっぱり出席して申し訳なかったというのが一般的な常識じゃないかなと思います。委員がおっしゃったように、よろしくお願ひしたいと思うんです。との発言。

#### <事務局>

この委員会を開催するにあたって日程調整させていただいたのが、二月ほど前だったかと思うんですけども。この資料を作成していくなかで、RI 施設に関する、毎年いただいてた測定結果みたいなものがなかったの、問い合わせたところ、そういうことだったと



ということが分かって。委員長にも相談しながら、これは報告して、その協定書なども触れんとあかんよということで連絡を入れさせていただいたのが、もう一月もうちょっと切ったような時期だったので、日程の調整がつかなかったのかなとも思うんですが。今後の対応策ということで書いていただいたように、改めて協定、その基本指針っていうのがありますので、もうちょっと委員長にも、これが今回、施設の廃止だから、悠長なこと言うてられるけど、新たに実験やってますとか、施設を追加しましたというときに連絡がないというようなことがあったら、本当に大変なことになるので、ちょっとそこは改めて再認識していただきたいということで、そのままお伝えさせていただいたところでございます。との発言。

#### <委員長>

手続き上、不手際がございますけども、実際の中身は RI 施設の廃止というだけなので、それが環境に悪影響を及ぼすとかいうことはないと思うんです。われわれの答申としては、協定書ならびに環境保全に対する対策案、これを認めてもいいだろうと思っております。答申の案ですけども『参天製薬株式会社業務内容変更に伴う環境保全対策について』ということで市長宛にですね、資料 9 にあるんですけども『令和 3 年 7 月 30 日付け生環保第 356 号の諮問について』資料 4 ですね。『当委員会は、生駒市学研高山地区環境保全対策基本指針に基づき、参天製薬株式会社から提出された環境保全計画書の内容を詳細に検討し、慎重なる審議を行った結果、環境保全計画書の内容を了承し、別紙のとおり環境保全協定書（案）を取りまとめたので、それを答申します』ということでよろしいでしょうか。くれぐれもこのような手続きの齟齬（そご）がないように厳しく申し伝えてください。よろしく願いいたします。との発言。

#### 案件（４）『学研高山地区における監視測定結果について』について

##### <事務局>

資料に基づき、説明。

##### <委員長>

基準値を超えていたのは、井戸水のマンガンと鉄ですかね。酸素要求量、そういうものが多少超えてる分がありましたというご報告でほとんどの項目は基準値以下ということでした。何か今のご報告に質問、ご意見ございますでしょうか？ との発言。

##### <委員>

基準値以内だったというご報告をいただいたんですが、基準値内だけでも基準値に近いとか、ちょっと注意しなければならないとか、年度ごとにちょっとずつ上がってきてる、基準値以下だけど、要注意だというものはあるのでしょうか？との発言。

<事務局>

年度によってその数値の違いが出てるようではございますけれども、平成の初期ぐらいから継続して測定しているなかで、範囲を大きく外れるようなことがあれば気を付けないと言われてるんですけども、これまでの値の範囲内で収まっている。若干の高い低いが出ているということ。これからも継続して進めていく調査ですので、報告のなかで異常値みたいなものが出た場合は、調べていかななくてはならない。これまで、測定してきたその範囲からは大きく外れていないということで、環境的には保たれておるのではないかと考えております。

<委員長>

今回のこの監視結果、監視測定結果、このまま了承してもよろしいでしょうか？

一同会釈

<委員長>

学研高山地区における監視測定結果について了承ということにいたします。

案件（５）『その他』について

<委員長>

事務局から何かありますか。との発言。

<事務局>

先ほどから参天製薬の件もございまして、これも踏まえて、今後、学研高山地区において新規の事業が何かあれば、また施設等は改築する場合もございまして、場合によっては、また年度内に皆さまにお集まりいただくこともあるかと思われまして、そのときは、よろしくお願ひいたします。との発言。

<委員>

国道 163 号線の拡幅工事に伴って先日道路を、自治会のほうに国土交通省の浪速事務所のほうから、工事に伴う残土をバーレープの北側に残土置き場を設置したいという話があった。期間は 10 年。したがって、国道の拡幅工事が 10 年かかる。最長 10 年かかるであろうという試算から、10 年という単位で見ると、環境面にかなり影響する場合も出てくると思うので、その辺のことは事務局も把握はされてるんですか？との発言。

**<事務局>**

直接は聞いてない。

**<事務局>**

その事業化計画があります。国道 163 の案件は、国と県と、生駒市には事業計画課が一応やっておられる状態です。そこの話になっていると思う。ただ、国道の学研のほうは拡幅と、新清滝道路の関係は、ほとんど事業計画のほうはうちに話を出してくれますので確認はする。との発言。

**<委員長>**

全体を通し、言い忘れたというようなことございませんか？これでこの委員会、閉会したいと思います。今後とも高山地区の環境保全のため、事務局におかれましても、しっかりと役割をはたしていただききたいと重みますので、どうぞよろしくお願いいたします。他になれば、これで委員会を終わる旨の発言。